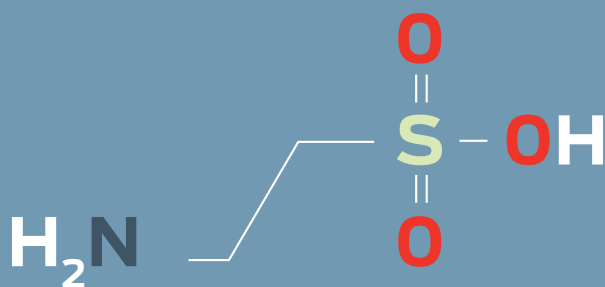


HOT TOPIC

市販のペットフードに含まれる合成原材料の有益性



タウリン



概要

人の食品と同様に、ペットフードに使用される原材料の由来はさまざまです。その多くは動物や植物ですが、人工的に製造(または合成)される場合もあり、「合成」原材料と呼ばれています。ペットフードにはどのような種類の合成原材料が使用されているのでしょうか。また、その役割は何でしょうか。

栄養に関するコミュニケーションに必要な科学的事実をPurina Institute (ピュリナインスティテュート)がお届けします。

let's
takeback
the conversation.

栄養学について詳しくはこちらから
PurinaInstitute.com

天然と合成の原材料に違いはありますか？

ペットフードに含まれる原材料はすべてが厳しく規制されています。それらは、完全にバランスのとれた栄養の提供、ペットが確実に好む食事を提供するための嗜好性や外観の向上といった目的を担っています。

原材料およびそれに関連する栄養素は、植物由来でも動物由来でも、合成成分と比べて本質的に質が高いとは言えません¹。

消化した後は、身体は栄養素の由来を区別できません。重要なのは、その栄養素が生物学的に利用可能で体内の細胞や組織がこれを利用できることです。また、バランスのとれた総合栄養食が、適切な量かつ他の栄養素との比較で正しい比率で、ペットに必要なすべての必須栄養素を提供することです。

市販のペットフードで使用される合成原材料にはどのような種類がありますか？

- **ビタミン類** 例：硝酸チアミン(ビタミンB1)およびミネラル、第一および第二リン酸カルシウム(カルシウムやリンの供給源)
- **アミノ酸** 例：タウリン、L-リジン-塩酸塩(リジン)、DL-メチオニン(メチオニン)
- **抗酸化成分およびその他の保存料** 例：ブチルヒドロキソトルエン(BHT)
- **香料** 例：人工スモーク香料
- **着色料** 例：酸化鉄²⁻⁴

ペットフードに合成原材料を使用するメリットは何ですか？

- 植物由来の原材料と比べて、品質や内容（純度）が一定です⁵。



植物由来原材料の品質や栄養含有量は、特定の栽培条件（天気、土壌など）によって変化します⁵。

- 合成ビタミン、ミネラルおよび個々のアミノ酸は、完全にバランスのとれた栄養を確保し⁴、また、療法食のように高濃度の栄養素を必要とするペットフードに、極めて正確な量を配合するために添加します。
- 動物または植物由来の原材料の風味を高めて嗜好性を向上させます⁴。
- 外観を改善しペットとペットオーナーの両方に対し訴求力を高めます。合成着色料は光や熱、酸素に曝露しても劣化しにくいことが多く（賞味期限までの安定性を高め、開封後の安定性も高める）⁵⁻⁷、植物由来の着色料と比べてより鮮やかで均一な色調が得られます^{6,7}。さらに、合成着色料は植物由来の原材料と比べて少量で同様の効果が得られます⁶。



- 赤ビート（ビートルート）を原料とした着色料など一部の植物由来着色料とは異なり、合成着色料では望ましくない風味や香りが加わることはありません^{5,6}。

ペットフードの原材料は動物または植物由来であるかに関わらず、厳しく規制されています⁸⁻¹⁰。さらに、ピュリナのペットフードの原材料はすべて、ピュリナの厳しい安全品質基準も満たしている必要があります。

参考文献

1. AAFCO, Inc. (2012). *Natural*. <https://talkspetfood.aaeco.org/natural>
2. fediaf (The European Pet Food Industry). (n.d.). *Additives*. Retrieved November 12, 2020, from <https://fediaf.org/39-prepared-pet-foods/89-additives.html>
3. AAFCO, Inc. (2012). *What's in the ingredients list?* <https://talkspetfood.aaeco.org/whatisinpetfood>
4. FDA. (2010, April). *Overview of food ingredients, additives & colors*. <https://www.fda.gov/food/food-ingredients-packaging/overview-food-ingredients-additives-colors>
5. Wrolstad, R. E. & Culver, C. A. (2012). Alternatives to those artificial FD&C food colorants. *Annual Reviews in Food Science & Technology*, 3, 59–77. doi: 10.1146/annurev-food-022811-101118
6. Sigurdson, G. T., Tang, P., & Giusti, M. M. (2017). Natural colorants: Food colorants from natural sources. *Annual Reviews in Food Science & Technology*, 8, 261–280. doi: 10.1146/annurev-food-030216-025923
7. Schweiggert, R. M. (2018). Perspective on the ongoing replacement of artificial and animal-based dyes with the alternative natural pigments in foods and beverages. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, 66, 3074–3081. doi: 10.1021/acs.jafc.7b05930
8. fediaf (The European Pet Food Industry). (2018, February). *Guide to good practice for the safe manufacture of pet foods*. https://fediaf.org/images/FEDIAF_Safety_Guide_February_2018_online.pdf
9. AAFCO, Inc. (2012). *Ingredient standards*. <https://talkspetfood.aaeco.org/ingredientstandards>
10. FDA (2019, June 4). *Pet food*. <https://www.fda.gov/animal-veterinary/animal-food-feeds/pet-food>